

令和6年度

自治会アンケート調査結果について

令和6年12月

鹿角市市民部生活環境課

調査の概要

1. 調査目的

少子高齢化や市民ニーズの多様化、コミュニティ意識の希薄化など自治会を取り巻く状況は厳しくなっていますが、その一方で、東日本大震災以降においては地域住民相互の“絆”がお互いを支え合う大きな力になっているなどその大切さが改めて認識されています。

本市では「共働」を基本姿勢に掲げ、第7次総合計画を推進しており、安全・安心な地域社会づくりをしていくうえで、自治会などの住民自治組織が果たす役割は大きく、その活性化を図っていきたいと考えています。

本調査では、自治会の組織運営や活動内容に関する実態の把握を行うことで、今後の自治会活性化支援事業の参考とし、自治会の活性化に役立てていくことを目的としています。

2. 調査方法

「基礎調査票」と「アンケート調査票」の2種類。

- ・基礎調査票は、令和4年度調査時回答から変更があった場合に回答内容の訂正を依頼。
- ・アンケート調査票は、設問を63問とし、回答を依頼。

3. 実施期間

令和6年6月27日（木）～9月30日（月）

4. 調査対象

市内188自治会（各自治会長に回答を依頼。）

5. 調査結果

送付数 188自治会

回答数 188自治会

回答率 100%

6. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各自治会に配付するほか、市ホームページ上で公開します。

その際、自治会名の記載は行わず（問26を除く）、統計的に取り扱うこととします。なお、集計結果に記載された活動内容を参考にしたいという自治会の申し出等があった場合、個別に自治会を紹介することがあります。

7. その他

割合の表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計は100%にならない場合があります。

目 次

基礎調査結果

自治会の構成	1～ 2
自治会の組織体制の状況	3
会計年度	3
地縁団体認可状況	4
所有財産	4
所有財産の管理状況	4

アンケート調査結果

会長や役員について

問 1. 会長の年齢について	5
問 2. 会長歴（通算）について	5
問 3. 会長の選任方法について	6
問 4. 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について	6
問 5. 会長の任期について	6
問 6. 役員会の開催頻度について	7
問 7. 自治会業務の引継ぎについて	7
問 8. 自治会業務の引継ぎの方法について	7
問 9. 会長および役員の報酬・謝礼について	8

年会費について

問 1 0. 年会費の徴収について	8～ 9
問 1 1. 年会費の減額について	9
問 1 2. 年会費の徴収方法について	9

会員名簿について

問 1 3. 会員名簿の作成について	10
問 1 4. 会員名簿の更新時期について	10
問 1 5. 会員名簿の作成方法について	10
問 1 6. 会員名簿の取り扱いについて	10

自治会館について

- 問 1 7. 自治会館の有無について 11
- 問 1 8. 自治会館の所有状況について 11
- 問 1 9. 自治会館の建設時期について 11
- 問 2 0. 自治会館管理上の課題について 12
- 問 2 1. 自治会館の建設予定について 12
- 問 2 2. 自治会活動（総会など）を行う拠点について 13

自治会活動について

- 問 2 3. 自治会活動について 14
- 問 2 4. 自治会を運営する上での悩みについて 15
- 問 2 5. 自治会活動での課題解決について 16
- 問 2 6. 親交がある自治会などについて 16～19
- 問 2 7. 自治会の統合・再編について 19～20

自治会への女性の参画について

- 問 2 8. 自治会役員女性の必要性について 20
- 問 2 9. 女性役員が必要な理由について 20～21
- 問 3 0. 女性役員が不要な理由について 21
- 問 3 1. 自治会役員などに女性が少ない理由について 21
- 問 3 2. 女性役員増加のための取り組みについて 22

自治会運営によるIT化について

- 問 3 3. 自治会連絡のSNSなどの活用について 22
- 問 3 4. ITを活用している取り組みについて 23
- 問 3 5. IT化を進める上での課題について 23
- 問 3 6. IT化を進める際に期待する市の支援制度について 23

自治会への加入について

- 問 3 7. 自治会への加入率について 24
- 問 3 8. 自治会区域内に居住していない会員について 24
- 問 3 9. 加入促進の取り組みについて 24

自治会の連合組織について

- 問 4 0. 地区連合組織（自治会の連合体）への加入について 25
- 問 4 1. 地区連合組織の必要性について 25
- 問 4 2. 地区連合組織の役割について 25

地域づくり協議会等について

- 問 4 3 . 市民センター事業について 26
問 4 4 . 地域づくり協議会等に期待することについて 26

広報等配付物の配付状況や取り扱いについて

- 問 4 5 . 広報等配付物の範囲について 27
問 4 6 . 広報の配付方法について 27
問 4 7 . 広報以外の配付物について 27
問 4 8 . 広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について 28

防災について

- 問 4 9 . 自主防災組織について 28
問 5 0 . 防災訓練について 28
問 5 1 . 緊急連絡体制の整備について 29
問 5 2 . 市のメール配信システムについて 29
問 5 3 . 自治会区域内の危険な場所について 29～31

自治会を支援する制度について

- 問 5 4 . 自治会振興交付金について 32
問 5 5 . 自治会元気づくり応援補助制度について 32
問 5 6 . 自治会館建設事業費補助制度について 33
問 5 7 . 集落活動応援事業の利用について 33
問 5 8 . 集落支援員活動事業の活用について 34
問 5 9 . 地域づくりリーダー研修会への要望について 34
問 6 0 . 新たに自治会を応援する支援制度などの意見・要望について . . 34

自治会の特徴・魅力・課題などについて

- 問 6 1 . 自治会のシンボル・資源・誇りについて 35～36
問 6 2 . 自治会内の課題について 36
問 6 3 . その他自治会に関する要望や意見などについて 37

基礎調査結果

自治会の構成

自治会加入の状況	R6	R4
全世帯	12,483	12,623
自治会加入世帯	9,254	9,459
自治会非加入世帯	3,229	3,164
加入率	74.1%	74.9%

※「全世帯」は住民基本台帳による世帯数(各年7月末現在)

全12,483世帯のうち、「自治会加入世帯」が9,254世帯、「自治会非加入世帯」が3,229世帯、「加入率」は74.1%となりました。前回調査とほぼ同様の結果となりました。

① 班数

班数	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～5班	105	55.9%	104	55.3%
6～10班	66	35.1%	68	36.2%
11～15班	13	6.9%	11	5.8%
16班以上	4	2.1%	5	2.7%
計	188	100%	188	100%

自治会の構成について、前回調査と同様に、「1～5班」の割合が最も多く、「1～10班」の割合が9割以上となりました。

② 会員世帯数

会員世帯数	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～30世帯	63	33.5%	63	33.5%
31～50世帯	54	28.7%	50	26.6%
51～100世帯	55	29.3%	58	30.9%
101～150世帯	12	6.4%	13	6.9%
151～200世帯	4	2.1%	4	2.1%
201世帯以上	0	0.0%	0	0.0%
計	188	100%	188	100%

会員世帯数について、前回調査から「1～50世帯」の自治会数が微増しています。

③ 会員数

会員数	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～50人	44	23.4%	37	19.7%
51～100人	46	24.5%	50	26.6%
101～150人	38	20.2%	35	18.6%
151～200人	21	11.2%	20	10.6%
201～250人	16	8.5%	20	10.6%
251～300人	8	4.3%	8	4.3%
301～350人	4	2.1%	4	2.1%
351～400人	3	1.6%	4	2.1%
401人以上	7	3.7%	8	4.3%
無回答	1	0.5%	2	1.1%
計	188	100%	188	100%

自治会員数について、「1～50人」、「51～100人」、「101～150人」が2割以上となりました。全体的に自治会ごとの会員数が減少しており、「1～150人」の割合が前回調査より3ポイント増加しています。

④ 65歳以上のみの世帯(高齢者世帯)がある自治会

65歳以上のみの世帯数	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
25世帯以下	133	70.7%	135	71.8%
26～50世帯	42	22.3%	38	20.2%
51～75世帯	8	4.3%	9	4.8%
76～100世帯	2	1.1%	2	1.1%
101世帯以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	3	1.6%	4	2.1%
計	188	100%	188	100%

※各世帯数は自治会が把握している数

⑤ 一人暮らしで65歳以上の世帯(独居高齢者世帯)がある自治会

一人暮らしで65歳以上の世帯数	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
10世帯以下	139	73.9%	142	75.6%
11～20世帯	39	20.7%	34	18.1%
21～30世帯	4	2.1%	4	2.1%
31～40世帯	1	0.5%	1	0.5%
41～50世帯	0	0.0%	0	0.0%
51世帯以上	1	0.5%	1	0.5%
無回答	4	2.1%	6	3.2%
計	188	100%	188	100%

※各世帯数は自治会が把握している数

⑥ 65歳以上のみの世帯の状況

65歳以上のみの世帯の状況	R6		R4	
	世帯数	割合	世帯数	割合
65歳以上のみの世帯の合計	3,801	41.1%	3,684	38.9%
65歳以上のみの世帯の合計のうち一人暮らしの世帯	1,436	15.5%	1,367	14.5%
自治会加入世帯	9,254	-	9,459	-

※自治会加入世帯に対する割合

※各世帯数は自治会が把握している数

高齢者世帯について、自治会加入世帯の4割となっています。また、独居高齢者世帯数については、自治会加入世帯の1割以上となっており、前回調査より世帯数、割合ともに増加しました。

自治会の組織体制の状況

役員の体制	全体 人数	男性		女性	
		人数	割合	人数	割合
会長	188	184	97.9%	4	2.1%
副会長	225	207	92.0%	14	6.2%
会計	197	156	79.2%	36	18.3%
監査	325	255	78.5%	57	17.5%
班長	964	681	70.6%	127	13.2%
その他	284	236	83.1%	48	16.9%
計	2,183	1,719	78.7%	286	13.1%

※全体人数には男女別が不明な人数も含まれています

※割合は各役員の全体人数に対する割合

組織体制の有無	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有り	121	64.4%	127	67.6%
無し	67	35.6%	61	32.4%
計	188	100%	188	100%

※「組織体制有り」は下記の組織を1つ以上結成している自治会

組織体制	R6(121自治会)		R4(127自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
青年会のある自治会	46	38.0%	51	40.2%
婦人会のある自治会	56	46.3%	61	48.0%
子ども会のある自治会	97	80.2%	113	89.0%
老人クラブのある自治会	52	43.0%	60	47.2%
その他	18	14.9%	18	14.2%

※組織体制があると回答した自治会に対する割合。複数回答あり。

組織体制について、「有り」の自治会数、各組織を結成している自治会数はともに前回調査より減少しています。

会計年度

会計年度	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1月～12月	71	37.8%	72	38.3%
2月～1月	5	2.7%	6	3.2%
3月～2月	5	2.7%	6	3.2%
4月～3月	98	52.1%	94	50.0%
5月～4月	2	1.1%	0	0.0%
8月～7月	0	0.0%	1	0.5%
11月～10月	1	0.5%	1	0.5%
12月～11月	5	2.7%	6	3.2%
無回答	1	0.5%	2	1.1%
計	188	100%	188	100%

会計年度について、「4月～3月」、「1月～12月」の割合の合計が約9割となり、ほとんどの自治会が会計年度のスタートを4月もしくは1月に設定しています。

地縁団体認可状況

地縁団体認可状況	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有	75	39.9%	73	38.8%
無	113	60.1%	115	61.2%
計	188	100%	188	100%

認可地縁団体として法人格を取得した自治会は、前回調査から2自治会增加し、全体の約4割が地縁団体に認可されています。

所有財産

所有財産	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有	72	38.3%	95	50.5%
無回答、不明	116	61.7%	93	49.5%
計	188	100%	188	100%

※下記の「宅地」、「山林」、「その他」のいずれかに回答している自治会を「有」としています。

所有財産の管理状況

財産管理状況	R6(72自治会)		R4(95自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
宅地(会館用地含む)	67	93.1%	81	85.3%
山林	41	56.9%	47	49.5%
その他	24	33.3%	33	34.7%

※「所有財産有」と回答した自治会に対する割合。複数回答あり。

財産を所有している自治会のほとんどが「宅地(会館用地含む)」、半数以上が「山林」を所有しています。その他として、グラウンドや鉱泉地などがありました。

アンケート調査結果

会長や役員について

問1 会長の年齢について

会長の年齢	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
20歳代	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	2	1.1%	3	1.6%
40歳代	4	2.1%	6	3.2%
50歳代	18	9.6%	18	9.6%
60歳代	87	46.3%	96	51.0%
70歳代以上	77	41.0%	65	34.6%
計	188	100%	188	100%

会長の年齢について、前回調査より「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」の割合が減少し、「70歳代以上」の割合が増加しています。また、「60歳代」と「70歳代以上」の合計は8割以上となっています。

問2 会長歴(通算)について

会長歴	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年未満	35	18.6%	41	21.8%
1年以上3年未満	40	21.3%	47	25.0%
3年以上5年未満	34	18.1%	35	18.6%
5年以上10年未満	44	23.4%	42	22.4%
10年以上15年未満	21	11.2%	18	9.6%
15年以上20年未満	4	2.1%	4	2.1%
20年以上	7	3.7%	1	0.5%
無回答	3	1.6%	0	0.0%
計	188	100%	188	100%

会長歴(通算)について、前回調査より「1年未満から5年未満」の割合が減少し、「5年以上から20年以上」の割合が増加しています。

問3 会長の選任方法について(複数回答あり) ※「割合」は全自治会数に対する割合

会長の選任方法	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
推薦	79	42.0%	85	45.2%
役員の中で互選	64	34.0%	64	34.0%
輪番制	22	11.7%	16	8.5%
選挙	11	5.9%	17	9.0%
抽選	1	0.5%	1	0.5%
その他	15	8.0%	10	5.3%
無回答	2	1.1%	2	1.1%

会長の選任方法について、「推薦」が最も多く、4割以上となっており、「輪番制」の割合が増加しています。いくつかの方法を併用して選任している自治会もあることが分かります。

問4 会長や役員交代を円滑に行うための工夫について※自由記載(主な回答を抜粋)

各班にて人選を行い、総会にて承認。
グループ制とし、その中から互選。グループ5～6名で会長、副会長、会計他総務として活動。現4グループあります。
定年制を設けており、定年になる者が次期役員を指名推薦し、選挙を行う。
4年間の役員を選挙で選出し、会長確定者が他の役員を指名。6名×4年=24人選出。
事前に役員会を開き、人選協議をしている。
年齢の順番制にしている。
前任者が各々次候補者を推薦する。
班員から推薦してもらう。
役員7人の任期2年で半数を改選。継続役員と新任役員計7名を会員による会長選出投票により点数順に、会長、副会長、会計を決定。任期1年。

会長や役員交代を円滑に行うための工夫について、「事前に役員会で協議をしている」という取り組みが最も多くありました。また、会長や役員決定について、「苦労している」と回答した自治会も多くありました。

問5 会長の任期について

会長の任期	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年	29	15.4%	26	13.8%
2年	122	64.9%	133	70.8%
3年	9	4.8%	9	4.8%
4年	2	1.1%	0	0.0%
5年以上	0	0.0%	0	0.0%
決まっていない	25	13.3%	20	10.6%
無回答	1	0.5%	0	0.0%
計	188	100%	188	100%

会長の任期について、「2年」の割合が最も高くなりました。8割を超える自治会が任期を1年～2年としていますが、問2の結果と照らし合わせると、任期を終了しても再度会長を務めている方が多いことが分かります。

問6 役員会の開催頻度について

役員会の頻度	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
毎月	35	18.6%	35	18.6%
隔月	37	19.7%	39	20.7%
半年ごと	26	13.8%	24	12.8%
その他	84	44.7%	81	43.1%
無回答	6	3.2%	9	4.8%
計	188	100%	188	100%

1年間の役員会の開催頻度について、「毎月」、「隔月」、「半年ごと」の割合はともに前回調査と大きく変わりませんでした。その他として、「必要に応じて」、「事業にあわせて開催」などがありました。

問7 自治会業務の引継ぎについて

役員交代時の引継ぎについて	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
行っている	100	53.2%	95	50.6%
十分ではないが行っている	74	39.4%	73	38.8%
全く行っていない	12	6.4%	10	5.3%
無回答	2	1.1%	10	5.3%
計	188	100%	188	100%

役員交代時の引継ぎについて、「行っている」、「十分ではないが行っている」の割合は9割以上となっています。

問8 自治会業務の引継ぎの方法について(複数回答あり)

引継ぎの方法	R6(174自治会)		R4(168自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
マニュアル	31	17.8%	29	17.3%
マニュアル以外の紙文書	67	38.5%	71	42.3%
口頭	132	75.9%	124	73.8%
電子データ	39	22.4%	31	18.5%
その他	4	2.3%	4	2.4%
無回答	2	1.1%	2	1.2%

※問7で「行っている」または「十分ではないが行っている」と回答した自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

帳簿類を引き継ぐほか、分からないことは代々の経験者に口頭で確認している。
役員で話し合い、協議委員会で協議後、総会を経て議事録と共に書類及び口頭で送りしている。

引継ぎの方法について、「口頭」の割合が最も高く、引継ぎを行っている自治会の7割以上が行っており、また、多くの自治会が口頭とマニュアル、マニュアルとデータといったように、複数を組み合わせた引継ぎを行っています。

問9 会長および役員への報酬・謝礼について

報酬・謝礼の支出	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
している	142	75.5%	139	73.9%
していない	46	24.5%	47	25.0%
無回答	0	0.0%	2	1.1%
計	188	100%	188	100%

会長および役員に対する報酬や謝礼の支出について、「している」と回答した自治会が前回調査より3件増加しています。

支出している役職	R6(142自治会)		R4(139自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会長	137	96.5%	127	91.4%
副会長	86	60.6%	77	55.4%
会計	114	80.3%	108	77.7%
監査	38	26.8%	30	21.6%
班長	37	26.1%	29	20.9%
その他	44	31.0%	43	30.9%

※報酬・謝礼の支出をしていると回答した自治会数に対する割合

支出している役職については「自治会長」、「会計」、「副会長」の順に多くなっています。

年会費について

問10 年会費の徴収について

年会費の徴収	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
している	180	95.7%	181	96.3%
していない	8	4.3%	5	2.6%
無回答	0	0.0%	2	1.1%
計	188	100%	188	100%

年会費の徴収について、「している」の割合が9割を超え、ほとんどの自治会で年会費を徴収しています。

会費内訳	R6(180自治会)		R4(181自治会)		年会費の金額	自治会数
	自治会数	割合	自治会数	割合		
500円～1,000円	4	2.2%	1	0.6%	12,000円	43
1,001円～5,000円	19	10.6%	20	11.0%	6,000円	23
5,001円～10,000円	69	38.3%	71	39.2%	10,000円	13
10,001円～20,000円	76	42.2%	79	43.6%	15,000円	8
20,001円～30,000円	6	3.3%	8	4.4%	9,600円	7
30,001円以上	4	2.2%	2	1.1%	7,200円	7
無回答	2	1.1%	0	0.0%	8,400円	6
					7,000円	6

※「年会費の徴収をしている」と回答した自治会に対する割合

(回答が多い上位8位まで)

会費の内訳について、「5,001円～10,000円」と「10,001円～20,000円」の割合が他の内訳金額より高く、8割の自治会が年会費を5,001円～20,000円としています。また金額で回答数が最も多かったのは「12,000円」で43自治会、次いで「6,000円」で23自治会でした。

問11 年会費の減額について

自治会費減額	R6(180自治会)		R4(181自治会)	
	自治会数	割合	割合	割合
している	47	26.1%	53	29.3%
していない	131	72.8%	128	70.7%
無回答	2	1.1%	0	0.0%

※問10で「年会費の徴収をしている」と回答した自治会に対する割合

減額している場合、その理由(複数回答あり)

減額の理由	R6(47自治会)		R4(53自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
高齢者夫婦の世帯	6	12.8%	7	13.2%
高齢者独居世帯	22	46.8%	26	49.1%
生活困窮	17	36.2%	22	41.5%
その他	15	31.9%	14	26.4%
無回答	0	0.0%	2	3.8%

※問11で「年会費の減額をしている」と回答した自治会に対する割合

会員(一般世帯)の年会費の減額について、「している」の割合が前回調査より減少しています。2割以上が「している」と回答しましたが、その理由については「高齢者独居世帯」、「生活困窮」の割合が高く、その他の減額理由として、「常時不在の世帯」、「アパート居住者」、「施設等入所者」などがありました。

問12 年会費の徴収方法について(複数回答あり)

会費の徴収方法	R6(180自治会)		R4(181自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
年1回まとめて徴収している	93	51.7%	84	46.4%
月ごとに徴収している	45	25.0%	52	28.7%
その他	53	29.4%	49	27.1%
無回答	10	5.6%	1	0.6%

※問10で「年会費の徴収をしている」と回答した自治会に対する割合

年会費の徴収方法について、「年1回まとめて徴収」や「月ごとに徴収」といった方法のほか、その他として、「数か月ごとに徴収」や「各世帯の希望により徴収」という回答もありました。

会員名簿について

問13 会員名簿の作成について

会員名簿を作成しているか	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
はい	142	75.5%	140	74.5%
いいえ	46	24.5%	47	25.0%
無回答	0	0.0%	1	0.5%
計	188	100%	188	100%

会員名簿の作成について、7割以上の自治会で名簿を作成しています。

問14 会員名簿の更新時期について

名簿の更新時期	R6(142自治会)		R4(140自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年更新	91	64.1%	100	71.4%
2年更新	12	8.5%	11	7.9%
3年更新	1	0.7%	2	1.4%
4年更新	0	0.0%	0	0.0%
5年更新以上	0	0.0%	2	1.4%
随時更新	36	25.4%	25	17.9%
無回答	2	1.4%	0	0.0%

※問13で「はい」と回答した自治会に対する割合

会員名簿の更新時期について、「1年更新」としている自治会が最も多く、7割以上の自治会で「1～2年更新」としています。

問15 会員名簿の作成方法について※自由記載(主な回答を抜粋)

名簿作成に同意を得られた世帯のみ掲載している。
各班長から異動状況を聞き取りして作成している。
手書きの名簿を引き継ぎ、作り直してパソコンにデータで保管している。
全世帯記載し、緊急時の連絡体制に利用できるようにしている。
世帯主のみ掲載している。

会員名簿の作成方法について、「同意を得られた世帯のみ掲載」と回答した自治会が多くありました。

問16 会員名簿の取り扱いについて

名簿の取扱い	R6(142自治会)		R4(140自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会長のみ所持している	36	25.4%	27	19.3%
役員にのみ配付している	28	19.7%	23	16.4%
加入世帯全戸に配付している	68	47.9%	75	53.6%
その他	7	4.9%	14	10.0%
無回答	3	2.1%	1	0.7%

※問13で「はい」と回答した自治会に対する割合

作成した会員名簿の取り扱いについて、「加入世帯全戸に配付している」の割合が最も高くなりました。

自治会館について

問17 自治会館の有無について

会館の有無	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	153	81.4%	150	79.8%
ない	35	18.6%	36	19.1%
無回答	0	0.0%	2	1.1%
計	188	100%	188	100%

自治会館の有無について、8割が「ある」と回答しました。

問18 自治会館の所有状況について

会館の所有状況	R6(153自治会)		R4(150自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会館を所有している	130	85.0%	127	84.6%
他の自治会と共有している	4	2.6%	4	2.7%
市から借りている	14	9.2%	16	10.7%
市以外から借りている	2	1.3%	1	0.7%
その他	2	1.3%	2	1.3%
無回答	1	0.7%	0	0.0%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

自治会館の所有状況について、「会館を所有している」が最も多い結果となりました。

問19 自治会館の建設時期について

会館建設時期	R6(153自治会)		R4(150自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
昭和11年～29年	2	1.3%	4	2.7%
昭和30～49年	28	18.3%	32	21.3%
昭和50～63年	42	27.5%	47	31.4%
平成元年～10年頃	27	17.6%	32	21.3%
平成11年～20年頃	14	9.2%	15	10.0%
平成21年～30年頃	9	5.9%	5	3.3%
令和元年以降	1	0.7%	—	—
不明	15	9.8%	6	4.0%
無回答	15	9.8%	9	6.0%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

自治会館の建設時期について、「昭和50～63年」の割合が高くなっています。

問20 自治会館管理上の課題について(複数回答あり)

会館管理上の課題	R6(153自治会)		R4(150自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会館が老朽化しており、建て替えを検討している	10	6.5%	10	6.7%
改修を検討している	32	20.9%	37	24.7%
備品などの買い替えを検討している	39	25.5%	30	20.0%
維持管理費が負担になっている	27	17.6%	39	26.0%
その他	15	9.8%	17	11.3%
無回答	49	32.0%	33	22.0%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

老朽化により改修したいが、この先の集落人数の減少を考えると維持費も見込めない状況で、助成金を活用していくしかないと思う。
毎年必要な補修をしているが、いずれ建て替えが必要となる。
階段があり、高齢者が集まりにくい。
会館が老朽化しており、解体を検討している。新築の予定はなく、付近の公共施設を利用して会議をする予定。

自治会館管理上の課題について、「備品などの買い替えを検討している」、「改修を検討している」、「維持管理費が負担になっている」と回答している自治会の割合が多くなっています。

自治会館を所有していない自治会について

問21 自治会館の建設予定について

会館の建設予定について	R6(35自治会)		R4(36自治会)	
	自治会数	割合	自治会	割合
建設する予定はない	34	97.1%	32	88.9%
建設する予定である	0	0.0%	1	2.8%
建設を検討しているが時期は未定	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	2.9%	1	2.8%
無回答	0	0.0%	2	5.5%

※問17で「自治会館がない」と回答した自治会に対する割合

会館を所有していない自治会における自治会館の建設予定について、ほとんどの自治会が建設予定はないと回答しています。

問22 自治会活動(総会など)を行う拠点について(複数回答あり)

自治会活動を行う拠点について	R6(35自治会)		R4(36自治会)	
	自治会数	割合	自治会	割合
自治会長・役員宅	5	14.3%	7	19.4%
公共施設(市民センターなど)	15	42.9%	12	33.3%
他の自治会館を借りている	5	14.3%	2	5.6%
神社	2	5.7%	2	5.6%
その他	9	25.7%	12	33.3%
無回答	1	2.9%	1	2.8%

※問17で「自治会館がない」と回答した自治会に対する割合

会館を所有していない自治会の活動拠点として、「公共施設(市民センターなど)」と回答した自治会が多く、その他として「飲食店」、「ホテル」といった回答がありました。

自治会活動について

問23 自治会活動について

活動項目	①現在、継続して行っている活動			②今後、新たに行いたいと考えている活動	
		左の内、負担が大きいと 思っている活動	左の内、他の自治会と連携して 行っている活動	単独で行いたい活動	他の自治会と連携して行いたい活動
1. 住民への連絡	158	6	1	0	0
2. 広報の配付、市送付文書の回覧など	174	18	0	0	0
3. 地域清掃(クリーンアップ)	149	8	8	1	1
4. 市道の維持補修	64	10	3	0	0
5. 公園の管理	57	8	2	0	0
6. 農道・農地・農業用水路の管理	73	20	11	0	3
7. 堰根上げ・河川敷地の草刈り	98	27	14	0	4
8. 防犯活動(巡回活動)	34	4	1	5	1
9. 防災活動	78	5	2	6	3
10. 交通安全活動	75	3	1	2	2
11. 花壇づくり	65	7	1	0	0
12. 資源ごみの回収	72	2	0	0	0
13. 独居老人の訪問	51	2	1	4	0
14. 高齢者宅などの除雪	46	2	0	6	2
15. 敬老会	98	5	0	2	0
16. 運動会	32	7	5	1	0
17. スキー大会	5	2	0	0	0
18. 祭り・伝統行事など	84	13	14	0	4
19. 学習会など	20	2	0	0	0
20. 葬儀手伝い	50	2	2	1	0
21. 交流会	61	5	1	1	2
22. 子ども会	71	3	8	1	2
23. 学校行事への参加	19	2	0	0	0
24. 自治会報の発行	28	2	0	2	0
25. ホームページの開設	3	2	0	1	0
26. 募金(戸別訪問)	68	24	1	0	0
27. 行政機関への要望	85	4	2	0	1
28. コミュニティビジネス	2	1	0	1	0
29. その他	6	0	1	0	0

「①現在、継続して行っている活動」について、「2.広報の配付、市送付文書の回覧など」、「1.住民への連絡」、「3.地域清掃(クリーンアップ)」、「7.堰根上げ・河川敷地の草刈り」、「15.敬老会」などが主なものとなっています。また、負担が大きいと思っている活動は「7.堰根上げ・河川敷地の草刈り」、「26.募金(戸別訪問)」、「6.農道・農地・農業用水路の管理」、「2.広報の配付、市送付文書の回覧など」ですが、これらの中には他の自治会と連携して行っているものもあります。

「②今後、新たに行いたいと考えている活動」については、単独では「9.防災活動」、「14.高齢者宅などの除雪」、などがあり、それらの中には「他の自治会と連携して行いたい活動」もありました。

問24 自治会を運営する上での悩みについて(複数回答あり)

※「割合」は全自治会数に対する割合

運営する上での悩み	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
役員のなり手がいない	127	67.6%	124	66.0%
役員の負担が大きい	67	35.6%	70	37.2%
役員が高齢化している	101	53.7%	89	47.3%
未加入世帯が多い	12	6.4%	10	5.3%
予算が少ない	17	9.0%	13	6.9%
特定の人しか参加しない	74	39.4%	60	31.9%
世代間の交流が難しい	33	17.6%	37	19.7%
会員が無関心で協力・参加が得にくい	22	11.7%	20	10.6%
活動するための情報が不足している	4	2.1%	5	2.7%
活動中の事故が心配	16	8.5%	17	9.0%
他の地域や自治会との連携が弱い	12	6.4%	13	6.9%
その他	6	3.2%	6	3.2%
無回答	12	6.4%	15	8.0%

※自由記載(主な回答を抜粋)

今後高齢化により、役員のなり手がいなくなる。また、自治会行事にも参加する人が少なくなると思う。
共同作業に出務できる人が高齢化により年々減っており、出務している人の負担が増している。
住人の高齢化もそうですが、世帯が増えないこともあり、自治会活動に対して協力しない・できない方が多数になっており、今後自治会を維持できるのか不安。
若い世代の自治会活動への関心が低い。
60歳を過ぎても現役として会社勤めが当たり前となり、動ける世代が自治会活動に積極的に参加できない状態。

自治会を運営する上での悩みについて、「役員のなり手がいない」の割合が最も高く、6割以上となったほか、「役員が高齢化している」の割合も高く、5割以上となりました。

問25 自治会活動での課題解決について(複数回答あり)

※「割合」は全自治会数に対する割合

課題解決のために必要なこと	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
普段の付き合い	118	62.8%	124	66.0%
活動や趣味のグループづくり	32	17.0%	27	14.4%
祭りや行事の実施と参加	58	30.9%	68	36.2%
地域住民が地域の課題に関心を持つこと	75	39.9%	75	39.9%
会の情報を提供、共有すること	32	17.0%	37	19.7%
会の意思決定など、組織の運営を工夫すること	26	13.8%	35	18.6%
リーダーを育成すること	44	23.4%	48	25.5%
若い世代の参加	89	47.3%	81	43.1%
自治会の統廃合などの再編成	16	8.5%	19	10.1%
民生委員やPTAなど、他の組織との連携	16	8.5%	20	10.6%
その他	1	0.5%	2	1.1%
無回答	19	10.1%	17	9.0%

※自由記載(主な回答を抜粋)

老人クラブが活発で自治会活動も協力してもらっている。
最低限の活動にて会員たちが助け合うことが必要。
若い世代が住み着くこと。
全会員参加型のグラウンドゴルフ大会を実施したところ、高齢者含めて参加者が多かったので、継続してみたい。

課題解決のために必要なことについて、前回調査と同様に「普段の付き合い」の割合が最も高く、6割以上となりました。また、「若い世代の参加」、「地域住民が地域の課題に関心を持つこと」といった回答も多くなりました。

問26 親交がある自治会などについて

親交のある自治会 があるか	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
はい	83	44.1%	89	47.3%
いいえ	93	49.5%	84	44.7%
無回答	12	6.4%	15	8.0%
計	188	100%	188	100%

※以下回答のあった自治会の回答内容を記載

【八幡平地区】

回答	親交のある自治会など	活動や行事
水沢	熊沢、谷内、永田	盆踊り、運動会、人足事業
熊沢	谷内	無回答
永田	谷内、水沢、熊沢	谷内・永田運動会、八幡平地区市民運動会
谷内	永田、熊沢、水沢	運動会、水路管理(堰根上げなど)
長嶺	川部	運動会、大日堂舞楽
川部	長嶺	祭堂
小豆沢	湯瀬	市民運動会
大里	玉内、葛岡	市民運動会
夏井	長牛	養豚場の視察と情報交換
長牛	桃枝	市民運動会、テレビ組合
桃枝	長牛	市民運動会、消防団
白欠	長内	人数不足のため協同で行うようにしています
長内	三ヶ田、白欠	無回答
三ヶ田	大久保、荒町	体協などの地域行事・大会など
大久保	三ヶ田、荒町	無回答
荒町	三ヶ田、大久保	神社への参拝、堰根上げ
黒沢	石鳥谷	運動会、老人クラブ
石鳥谷	黒沢	無回答
松館	石鳥谷、黒沢	無回答

【尾去沢地区】

回答	親交のある自治会など	活動や行事
尾去	西道口、下モ平、蟹沢	八幡神社例大祭
下モ平	蟹沢、西道口、尾去	八幡神社祭典、市民野球、グラウンドゴルフ、防災訓練
中央通	瓜畑	子ども会
軽井沢	山方、山神社	山方→子ども会、山神社→民生委員
下新田	中新田	地域資源保全会(堰上げなど)
中新田	下新田	三ツ矢沢地域資源保全会活動、やまかげサロン
山神社	軽井沢	民生委員との会合

【十和田地区】

回答	親交のある自治会など	活動や行事
古町	下小路(下)	小学校の子ども会
下小路(下)	館、古町	子ども会
城ノ下	南、五軒町、萱町	用水路の清掃(秋)
下町	上町、中町、川原	毛馬内盆踊り、民生委員
土ヶ久保	中野	運動会(岡田)、堰根上げ、農地管理
中野	土ヶ久保、蟹沢	堰根上げ、水路水門管理
石野	松山、大欠、土深井	交流会
高清水	山根地区	農村公園の草刈り

回答	親交のある自治会など	活動や行事
下芦名沢	上芦名沢、高清水、長者久保	公園の草刈り
沢尻	松ノ木	無回答
浜田	根市戸、古川	物見坂(市道)の草刈り
根市戸	浜田	物見坂の草刈り、泥上げ(側溝)
松山	大欠、石野、土深井	4自治会役員交流会
大欠	松山、土深井、石野	役員の交流会
土深井	末広地区	役員交流会
川上	箒畑	民生委員
中岱	荒瀬	会館の維持運営、役員の交流会
丁内	下ノ湯、川原ノ湯	休止中
下ノ湯	丁内、川原ノ湯	花見会、演芸大会(コロナで数年休止中)、防災訓練
川原ノ湯	下ノ湯、丁内	演芸会
下草木	丸館、新田	環境保全活動

【花輪地区】

回答	親交のある自治会など	活動や行事
上野	沢口一区、新田町三区	要望事項など
館盆坂	沢口一区	クリーンアップ
新田町三区	新田町農家	高校周辺道路の草刈り、クリーンアップ
舟場町	舟場三区	舟場地蔵尊祭典、町踊り
谷地田町二区	谷地田町一区、坂ノ上	花輪ばやし
坂ノ上	谷地田町一区、谷地田町二区	無回答
大町	中堰向	花輪ばやし、ねぶた、子ども会、自主防災
新町	横町袋丁、下堰向	祭り行事の参加
横町袋丁	新町	お祭り、子ども会
横丁	川原町	無回答
川原町	横丁、沢小路	無回答
中堰向	大町	神社、祭り行事の運営、野良猫対策、高齢一人暮らしの見守り
下堰向	新町	無回答
旭町一区	旭町二区、旭町三区	花壇づくり、葬儀手伝い、子ども会、行政機関への要望、旅行、神社例大祭
旭町二区	旭町一区、旭町三区	無回答
旭町三区	旭町一区、旭町二区	無回答
八正寺団地	下堰向	子ども会
沢小路	川原町、組丁、横丁	無回答
小坂二区	小坂一区、小坂三区	老人クラブ、婦人会、若者会、子ども会、運動会、祭典、どんと祭、新年神事
小坂三区	小坂一区、小坂二区	小坂祭典、どんと焼き、クリーンアップ
鏡田	小深田	無回答

回答	親交のある自治会など	活動や行事
用野目	狐平、下川原、高屋、鏡田、花軒田、曲沢	西山地区連絡協議会、各団体役員選出の協力
狐平	西山地区連絡協議会	年4～5回の会合または1回の総会
下川原	高屋、狐平、用野目、鏡田、花軒田、曲沢	地域内の団体役員などの選出、行政への陳情、西山養豚団地関連
高屋	用野目、狐平、下川原、鏡田、花軒田、曲沢	会長会と総会
曲沢	西山地区連絡協議会	無回答
鶴田	上台、長野、高市	市役所への陳情、四ヶ部落協議会
小深田	鏡田	共有林の管理他
西町	東町	無回答
東町	西町	神社参拝、奉納事業
小平	新斗米	水路点検
高市	上台、長野、鶴田	四ヶ部落環境道路などの現地調査、四ヶ部落の交流会
長野	上台、高市、鶴田	間瀬川流域四ヶ部落協議会
上台	間瀬川流域四ヶ自治会(長野、高市、鶴田)	水田の水利、交流会など
級ノ木	菩提野	堰根上げ
外扇の間警察 宿舎	福士警察宿舎	草刈りの打合せなど

親交のある自治会の有無について、前回調査とほぼ同様となりました。協力・連携して行っている活動や行事については、クリーンアップや草刈りなどの環境整備活動、運動会や祭りなどの交流行事や伝統行事が多くみられました。

問27 自治会の統合・再編について

自治会の統合・再編について	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
必要だと思う	28	14.9%	26	13.8%
必要だと思わない	49	26.1%	67	35.7%
今は必要ないがいずれは必要かもしれない	105	55.9%	85	45.2%
その他	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	3.2%	10	5.3%
計	188	100%	188	100%

統合・再編先の想定自治会	R6(28自治会)		R4(26自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
想定先がある	14	50.0%	15	57.7%
想定先はない	14	50.0%	11	42.3%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

統合・再編に向けた協議	R6(28自治会)		R4(26自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
行っている	0	0.0%	0	0%
自治会内で検討中	5	17.9%	3	11.5%
行っていない	21	75.0%	22	84.6%
無回答	2	7.1%	1	3.9%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

統合・再編に向けた課題(複数回答あり)	R6(28自治会)		R4(26自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会財産の取扱い	21	75.0%	11	42.3%
自治会同士が離れている	6	21.4%	4	15.4%
規約や会費の違い	24	85.7%	9	34.6%
組織が大きくなることでの役員の負担増	17	60.7%	6	23.1%
伝統行事の存続	6	21.4%	4	15.4%
その他	0	0.0%	4	15.4%
無回答	0	0.0%	6	23.1%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

自治会の統合・再編について、前回調査と同様に「今は必要ないがいずれは必要かもしれない」の割合が最も高く、「必要だと思う」とあわせると、前回調査より10ポイント以上増加し、7割となっています。また、統合・再編に向けた課題として「規約や会費の違い」、「自治会財産の取扱い」と回答した自治会が多くなりました。

自治会への女性の参画について

問28 自治会役員の女性の必要性について

自治会役員の女性の必要性	R6	
	自治会数	割合
必要だと思う	167	88.8%
必要だと思わない	13	6.9%
無回答	8	4.3%
計	188	100%

自治会役員の女性の必要性について、約9割の自治会が「必要だと思う」と回答しました。

問29 女性役員が必要な理由について(複数回答あり)

女性役員が必要な理由	R6(167自治会)	
	自治会数	割合
女性の立場や視点での意見が必要である	129	77.2%
場が明るくなり、会議などで意見が出やすくなる	35	21.0%
住民の減少で男性だけでは役割の分担が困難である	62	37.1%
男女に関係なく実力のある人を選出すべきである	105	62.9%
その他	2	1.2%
無回答	19	11.4%

※問28で「必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

女性役員が必要な理由について、「女性の立場や視点での意見が必要」、「男女に関係なく実力のある人を選出すべき」という回答が多くなりました。その他として「必要ではあるが家庭の負担が大きいため、強制はできない」という意見もありました。

問30 女性役員が不要な理由について(複数回答あり)

女性役員が不要な理由	R6(13自治会)	
	自治会数	割合
家庭の事情で夜遅くまでの会議や休日の行事参加が難しい	7	53.8%
力仕事など女性には不向きな仕事がある	3	23.1%
自治会の規約などで男性もしくは世帯主と制限されている	1	7.7%
男性の役員だけで対応できる	5	38.5%
その他	3	23.1%
無回答	2	15.4%

※問28で「必要だと思わない」と回答した自治会に対する割合

女性役員が不要な理由について、「家庭の事情で夜遅くまでの会議や休日の行事参加が難しい」という意見が回答した自治会の5割以上となりました。また、その他として「女性も高齢化しているため、役員のなり手がいない」という回答もありました。

問31 自治会役員などに女性が少ない理由について(複数回答あり) ※「割合」は全自治会数に対する割合

女性が少ない理由	R6(188自治会)	
	自治会数	割合
家族からの理解・協力が得られない	60	31.9%
女性自身が責任ある役職につきたがらない	110	58.5%
女性が役員になることへの男性の抵抗感がある	21	11.2%
女性を役員に推薦する雰囲気がない	45	23.9%
その他	4	2.1%
無回答	36	19.1%

※自由記載(主な回答を抜粋)

総会の出席は世帯主なので圧倒的に男性が主体となっている。
家事をしなければならぬ時間帯での自治会活動が負担。
現時点ではまだまだ家庭の仕事などで手がまわらないのではないかな。
家父長制から来るのか、先に立つのは男という意識がある。

自治会役員などに女性が少ない理由について、「女性自身が責任ある役職につきたがらない」が最も多く、約6割となっており、次いで「家族からの理解・協力が得られない」という回答が多くなっています。女性自身と家族のどちらもが女性が自治会役員になることに消極的な考えだと分かります。

問32 女性役員増加のための取り組みについて(複数回答あり) ※「割合」は全自治会数に対する割合

女性役員増加のための取り組み	R6(188自治会)	
	自治会数	割合
女性が役員活動を行うための仲間づくりを進める	31	16.5%
地域に女性を役員に進めるよう啓発や情報提供を行う	22	11.7%
自治会運営への女性の参画を積極的に呼びかける	48	25.5%
役員会や会議などの開催日時を考慮する	19	10.1%
役員の負担を軽減する	22	11.7%
その他	7	3.7%
無回答	95	50.5%

※自由記載(主な回答を抜粋)

選挙規程を変更する必要がある。
班長や行政機関の協力員など、お願いしやすいところから取り組んでいる。
家族の協力が必要。
男女関係なく、役員のなり手が少ない。

女性役員増加のための取り組みについて、「自治会運営への女性の参画を積極的に呼びかける」、「女性が役員活動を行うための仲間づくりを進める」という回答が多くなっています。

自治会運営によるIT化について

問33 自治会連絡のSNSなどの活用について

自治会連絡のSNSなどの活用の有無	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
している	33	17.6%	23	12.2%
していない	147	78.2%	160	85.1%
無回答	8	4.3%	5	2.7%
計	188	100%	188	100%

自治会連絡のSNSなどの活用について、約8割の自治会が「活用していない」と回答しましたが、「活用している」の割合が前回調査より増加しました。

利用している手段(複数回答あり)	R6(33自治会)		R4(23自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
メール	17	51.5%	15	65.2%
SNS	24	72.7%	14	60.9%
自治会向け専用アプリ	1	3.0%	0	0.0%
その他	1	3.0%	2	8.7%

※「している」と回答した自治会に対する割合

利用している手段について、「メール」と「SNS」の割合が高くなりました。

問34 ITを活用している取り組みについて(複数回答あり) ※「割合」は全自治会数に対する割合

ITを活用している取り組みについて	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
オンラインでの役員会議	3	1.6%	1	0.5%
会議など出欠確認のネット化	11	5.9%	8	4.3%
災害時など安否確認の実施	5	2.7%	4	2.1%
自治会会費などの集金の電子決済	1	0.5%	1	0.5%
電子回覧板、ホームページなどの掲示板	2	1.1%	1	0.5%
その他	1	0.5%	2	1.1%
無回答	169	89.9%	173	92.0%

ITを活用している取り組みについて、割合が最も高い「会議など出欠確認のネット化」でも1割未満となり、ITの活用が進んでいないことが分かりました。

問35 IT化を進める上での課題について

IT化を進める上での課題の有無	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	139	73.9%	130	69.1%
ない	22	11.7%	24	12.8%
無回答	27	14.4%	34	18.1%
計	188	100%	188	100%

IT化を進める上での具体的な課題について (複数回答あり)	R6(139自治会)		R4(130自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
必要な機器を保有していない	101	72.7%	105	80.8%
ネット環境が整備されていない	61	43.9%	—	—
電子機器の取扱いが不慣れな人が多い	67	48.2%	111	85.4%
その他	3	2.2%	1	0.8%
無回答	0	0.0%	3	2.3%

※「ある」と回答した自治会に対する割合

IT化を進める上での具体的な課題について、「機器を保有していない」が最も多く、7割以上となっています。その他として、「全世界でスマートフォンを使いこなす人がいないと難しい」といった回答がありました。

問36 IT化を進める際に期待する市の支援制度について(複数回答あり) ※「割合」は全自治会数に対する割合

市の支援制度について	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会館への電子機器やソフトウェアなど整備の費用補助	78	41.5%	71	37.8%
電子掲示板やオンラインツール講習会の実施	48	25.5%	52	27.7%
アドバイザーなどの派遣	50	26.6%	42	22.3%
その他	8	4.3%	9	4.8%
無回答	80	42.6%	90	47.9%

IT化を進める際に期待する市の支援制度について、「自治会館への整備費用補助」を希望する声が多くあります。その他として、「IT化が今はまだ必要と思えない」という意見が複数ありました。

自治会への加入について

問37 自治会への加入率について

自治会加入率	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
全戸加入している	77	41.0%	80	42.5%
90%程度	68	36.2%	62	33.0%
90%未満～80%以上	16	8.5%	21	11.2%
80%未満～50%以上	20	10.6%	17	9.0%
50%未満	1	0.5%	0	0.0%
無回答	6	3.2%	8	4.3%
計	188	100%	188	100%

自治会への加入率について、4割以上の自治会が「全戸加入している」と回答しており、「90%程度」と合わせた割合は7割以上となりましたが、「80%未満～50%以上」の割合が微増し、自治会加入率の低下が見られます。

問38 自治会区域内に居住していない会員について

自治会区域内に居住していない会員	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
いる	55	29.3%	65	34.6%
いない	120	63.8%	112	59.6%
無回答	13	6.9%	11	5.8%
計	188	100%	188	100%

自治会区域内に居住していない会員について、「いる」の割合は、前回調査から5ポイント減少し、3割程度となっています。

問39 加入促進の取り組みについて(複数回答あり)

※「割合」は全自治会数に対する割合

加入促進の取り組み	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会で作成したポスターやチラシを配付するなど啓発に努めている	6	3.2%	7	3.7%
戸別訪問して加入を呼びかけている	38	20.2%	46	24.5%
特に何もしていない	113	60.1%	101	53.7%
その他	1	0.5%	3	1.6%
無回答	31	16.5%	33	17.6%

加入促進の取り組みについて、前回調査と同様に、「特に何もしていない」の割合が最も高く、6割以上となっています。

自治会の連合組織について

問40 地区連合組織(自治会の連合体)への加入について

地区連合組織	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
加入している	72	38.3%	81	43.1%
加入していない	85	45.2%	79	42.0%
加入を検討している	2	1.1%	0	0.0%
組織がない	18	9.6%	17	9.0%
無回答	11	5.9%	11	5.9%
計	188	100%	188	100%

問41 地区連合組織の必要性について

地区連合組織	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
必要である	86	45.7%	92	48.9%
必要でない	79	42.0%	68	36.2%
無回答	23	12.2%	28	14.9%
計	188	100%	188	100%

地区連合組織への加入や地区連合組織の必要性について、約4割の自治会が加入しており、約半数が「必要である」と回答しました。

問42 地区連合組織の役割について(複数回答あり)

※「割合」は全自治会数に対する割合

連合組織の役割	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
行政への要望書提出	51	27.1%	55	29.3%
行政から自治会への各種依頼、事業協力の調整	23	12.2%	22	11.7%
自治会相互の連携事業や連絡調整	50	26.6%	55	29.3%
加入していないのでわからない	81	43.1%	65	34.6%
その他	2	1.1%	2	1.1%
無回答	27	14.4%	30	16.0%

地区連合組織の役割について、「行政への要望書提出」、「自治会相互の連携事業や連絡調整」の割合が高くなりました。

地域づくり協議会等について

問43 市民センター事業について

センター事業への参加	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	67	35.6%	75	39.9%
ない	115	61.2%	104	55.3%
無回答	6	3.2%	9	4.8%
計	188	100%	188	100%

1年間の市民センター事業への参加について、「ある」の割合が前回調査より減少しています。

参加した事業(複数回答あり)

参加行事	R6(67自治会)		R4(75自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
市民運動会	31	46.3%	26	34.7%
市民スキー大会	4	6.0%	12	16.0%
子ども会行事	26	38.8%	32	42.7%
各種講習会	33	49.3%	28	37.3%
文化事業	32	47.8%	33	44.0%
その他	9	13.4%	17	22.7%
無回答	2	3.0%	2	2.7%

※「ある」と回答した自治会に対する割合

参加した市民センター事業について、「市民運動会」、「各種講演会」、「文化事業」の割合が前回調査より増加しています。

問44 地域づくり協議会等に期待することについて(複数回答あり) ※「割合」は全自治会数に対する割合

地域づくり協議会に期待すること	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会活動の支援	51	27.1%	60	31.9%
生涯学習に関する各種学級・講座の開催	17	9.0%	17	9.0%
芸術、文化、スポーツなど趣味的な事業の開催	28	14.9%	27	14.4%
生涯スポーツを通じて健康づくりと親睦を深める事業の開催	18	9.6%	30	16.0%
自治会向けの講座の開催	21	11.2%	35	18.6%
このままでよい	63	33.5%	64	34.0%
その他	7	3.7%	6	3.2%
無回答	33	17.6%	22	11.7%

地域づくり協議会等に期待することについて、前回調査と同様に「このままでよい」の割合が最も高くなっています。また、その他として、「敬老に関する事業」、「自治会同士の交流を図る事業」という回答もありました。

広報等配付物の配付状況や取り扱いについて

問45 広報等配付物の範囲について

広報配付範囲	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会加入世帯のみ	120	63.8%	114	60.6%
自治会未加入世帯を含む	66	35.1%	65	34.6%
その他	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	1.1%	9	4.8%
計	188	100%	188	100%

広報等配付物の範囲について、「自治会加入世帯のみ」の自治会が多く、6割以上となりました。自由記載で、「アパート住居者」、「賛助会員の企業」といった回答がありました。

問46 広報の配付方法について

配付方法	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会長または配付担当員が仕分けして配付	49	26.1%	45	23.9%
自治会長または配付担当員が仕分けして班長などが配付	130	69.1%	125	66.5%
会館などに設置し、会員が各自取りに来る	3	1.6%	2	1.1%
その他	4	2.1%	9	4.8%
無回答	2	1.1%	7	3.7%
計	188	100%	188	100%

広報の配付方法について、「会長または配付担当員が仕分けして班長などが配付」の割合が最も高く、仕分けと配付で役割分担をしている自治会が多数ありました。その他として、「役員会で仕分けし、班長が配付」といった回答がありました。

問47 広報以外の配付物について(R6複数回答あり)

※「割合」は全自治会数に対する割合

チラシなどについて	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
これまで通りでよい	57	30.3%	65	34.6%
減らしてほしい	69	36.7%	63	33.5%
広報に全てまとめてほしい	57	30.3%	45	23.9%
その他	3	1.6%	5	2.7%
無回答	9	4.8%	10	5.3%

広報以外の配付物(チラシなど)について、「減らしてほしい」の割合が最も高くなり、「広報に全てまとめてほしい」とあわせて6割を超え、広報以外の配付物が多いと感じている自治会が多数ありました。

問48 広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について(主な回答を抜粋)

配布物の枚数が少ないと困るが、多いとどこかの班に少なくいつているのではともう一度数え直すことがある。
回覧や自治会活動外の配布物もあり、考えてもらいたい。
個人に必要なもの以外は回覧にしてほしい。
月末に配布されるものは良いが、時期を外した配布物は大変に困っている。
ポスター掲示で期間が長い場合、次のポスターが配布されると重ねて掲示しなければならない。
サービスで入れていると思うが、帯封に示されている枚数の通りにしてほしい。2~3部多いものもある。
市で直接配布してほしい。
毎月配布しなくてもよい物は減らしてほしい。

広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について、「配付物の種類が多い」という意見が多くありました。

防災について

問49 自主防災組織について

自主防災組織	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
結成している	83	44.1%	87	46.3%
結成を検討している	14	7.4%	12	6.4%
検討していない	82	43.6%	84	44.7%
無回答	9	4.8%	5	2.6%
計	188	100%	188	100%

自主防災組織について、前回調査とほぼ同様の結果が出ていますが、「結成を検討している」自治会の割合が増加しました。

問50 防災訓練について

防災訓練の実施	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
実施している	67	35.6%	60	31.9%
実施していない	112	59.6%	116	61.7%
無回答	9	4.8%	12	6.4%
計	188	100%	188	100%

防災訓練について、前回調査から「実施している」の割合が増加しました。回数については、「1回」が最も多く、「必要に応じて市や消防担当者に依頼して実施している」という回答もありました。

問51 緊急連絡体制の整備について

緊急連絡体制の整備	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
している	84	44.7%	101	53.7%
していない	94	50.0%	78	41.5%
無回答	10	5.3%	9	4.8%
計	188	100%	188	100%

緊急連絡体制の整備状況について、4割以上の自治会で「整備している」と回答がありました。

問52 市のメール配信システムについて

情報メール	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
すでに登録済み	102	54.3%	106	56.4%
今後登録したい	49	26.1%	53	28.2%
登録は難しい	16	8.5%	16	8.5%
無回答	21	11.2%	13	6.9%
計	188	100%	188	100%

市の情報メール配信システムについて、「すでに登録済み」と回答した会長の割合は前回調査とほぼ同様となっています。多くの住民に素早く様々な情報を発信できる情報メールですが、自由記載欄では「あまりに情報量が多いのでやめた」との意見がありました。

市の情報メール配信システムは、必要な情報だけを受信できるよう設定することも可能ですので、ご不明な点につきましては、総務課危機管理室までお問い合わせください。

問53 自治会区域内の危険な場所について

危険箇所	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	77	41.0%	72	38.3%
ない	85	45.2%	97	51.6%
無回答	26	13.8%	19	10.1%
計	188	100%	188	100%

※「ある」場合の具体的な場所

R341 号の熊沢～蛇沢間のスノーセント上の雑木が倒れたり折れたり、崩壊しないか心配。通行不能の場合、迂回路がないため、大変不便なことになる。
会館が低い場所にあるので、川が氾濫した場合、避難場所に苦慮する。
米代川の増水時。
急傾斜地全域。
急傾斜地、自治会館周辺。
指定急傾地。
市道と並行しているフェンスが一部破損して、人の落下事故が懸念あり。
高台にグラウンドがあり、グラウンド斜面の下に家があり、大雨の 때가危険。
川の川底が浅いため、大雨の 때가危険。

長泉寺付近。
米代川左岸地域。
米代川三代広場への通路の老朽化や手前の急斜地の雑木が大きくなり危険(草刈りなど)。3年前は自治会で草刈りを行っていたが、高齢化で人員が減り危険なため中止している。
裏山に大木が茂っていて、強い風が吹くと寝ていられないと救助を求められている。
上集落は山を背負っているので、土砂災害が心配。
山間部なので、山、沢、傾斜地が多いので不安が大。
山。がけ崩れが心配。
新堀住宅の法面。
山際の通りが崩れている。
クマ対策で檻設置箇所周りのゾーニング確保。
場所の特定はできないが、野生動物、クマ、サル、アナグマ、カモシカなどが出没している。
自治会内すべてが危険区域である。
危険区域外になっているが、すぐ近くの高台の土砂崩れが絶対起きないとは思えない。
自治会外だが、隣接する台地斜面の大きくなった木が気になる。大雨や台風などで影響されれば、当自治会にも何らかの被害があるかもしれないと考えている。
道路の白線が切れかかって事故へつながりかねない。自治会が勝手に引いてはいけないと言われている。
大湯川の増水。
坂道に倒木など。
川の氾濫や土砂災害、土砂崩れ。
クマ。
河川のがけ。
部落の林(坂道)。
自治会に接している傾斜地の近くに建てている家、大雨などで崩れないか心配である。
曲谷地法面。
米代川を下ったところに一軒家があり、大雨が降れば避難していることがある。
高井沢のため池周辺落石など。
土深井沢からの河川が大雨の時に増水し、大きな被害が出た。現在も倒木がそのままになっているところや護岸が崩れたままになっているところがあるため、大雨になればまた被害が出る。
自治会内のがけ崩れあり。
大湯川の氾濫。
裏山からの大雨時の土砂流入。
全世帯が土砂災害の危険箇所に該当する。
自治会内が県の急傾斜地崩壊危険区域に指定され、特に大雨時の対応を話し合っている。
災害危険箇所に指定されている場所。
沢口の通学路。強風で枝が道路上に落ちていることが多い。
小学校通学路の木々を数年に1度は間伐や伐採をしてほしい。
自治会館の東側の斜面。
万山神社付近の傾斜地。
鹿角高校通学路(万山林周辺、三日市団地周辺)の木伐採と急傾斜地の整備。
米代川の増水、氾濫。
急傾斜地があるので整備してほしい。

大堰。
大堰が流れており、60年前はよく転落事故があった。
大堰の氾濫による商店街への浸水。
大堰の氾濫。田植えの時期は水量が多く、そこに大雨が重なるとすぐあふれ、町内の飲食店が浸水した。現在、工事が進められているが、夜でも見守りが欠かせない。
自治会館前のお寺方面から大きい道に出る大堰の道、コモッセ付近のローソン交差点から JR 踏切までの道。
各交差点。冬は歩道と横断歩道の間に残された除雪後の雪。
中野クリニックとツルハドラッグの間の道路。凸凹が多いので、老人たちがつまずいて転倒しているのを見かけます。
米代川。以前大雨により米代川の堤防が決壊寸前になったことがある。
米代川。
大川添団地、久保田団地共に用水路があるため危険。
水害が起こる。
急傾斜地のがけ崩れ、大雨時の福士川の増水、公園のクマの出没。
福士川沿い、高速道路アンダーパス周辺、産土神社下。
中学校道路。
排水溝が狭い箇所があり、近年のゲリラ豪雨になるとすぐに水があふれてしまう。
集中豪雨のたびに床下浸水の被害が1世帯あり。
避難道路がない。
坂を下り線路までの田んぼ道が広く舗装されたので、横道からの車や人を見ることがないままスピードを出す車が多くなった。法定速度の看板表示を取り付けてほしい。
空き家周辺。
西山道路。一部分が災害時のままなので、早く全線開通させてほしい。山道の整備。
地区全体が土砂災害の特別地域。また、あばれ川があり、水害の温床となっている。
昨年からのクマの出没が多く、自治会の皆様には注意するよう呼び掛けている。今年、クマ誘引樹木伐採事業費補助金を申請したが、木が多く、申請しきれない区域もある。
空き家がつぶれかけていて、家の中が見えている。家の前の道路は通学路になっている。数年前に市役所を通して所有者に連絡してもらったが、未解決である。
令和4年の豪雨災害で浸水したところ。クマの目撃件数は自治会区域内全域。
共同墓地の法面の崩壊がみられる。
大雨時の間瀬川流域。
土砂流危険地区。

自治会区域内の危険な場所について、「ある」の割合が前回調査から増加しており、大雨による災害や鳥獣被害に対する不安が多く挙げられています。

自治会を支援する制度について

問54 自治会振興交付金について

交付額＝基本額(24,600円～33,400円)＋広報を配付する世帯対応額(600円×世帯数)
 (例) 50世帯の場合 25,800円＋600円×50世帯＝55,800円

自治会振興交付金について	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	151	80.3%	154	81.9%
見直しをしてほしい	24	12.8%	21	11.2%
無回答	13	6.9%	13	6.9%
計	188	100%	188	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

安すぎる。現在世帯対応額 600円×世帯数と考えると安すぎると思う。

世帯数減少により会費収入が減となるため、補助の意味も含め、見直しをしてほしい。

世の物価、賃金、価値が上がっているため、少しでも交付金を上げてほしい。

自治会振興交付金について、8割が「現状のままでよい」と回答していますが、見直しを求める意見もあります。

問55 自治会元気づくり応援補助制度について

福祉事業、環境整備事業、文化事業、交流事業などの主に活動費に対して補助金を交付します。
 会員世帯数が 30 世帯以下の場合には補助率4分の3、限度額 15 万円。それ以外の自治会は補助率
 2分の1、限度額は 10 万円です。
 ※利用年度を含めて3年間の制限を設けています。他の自治会との公平性を保つ観点から、制限
 についてご理解願います。

自治会元気づくり応援補助制度について	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	150	79.8%	156	83.0%
見直しをしてほしい	19	10.1%	12	6.4%
無回答	19	10.1%	20	10.6%
計	188	100%	188	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

会員世帯数の基準を見直してほしい。

会員の高齢化のため、事業を起こすのが前向きになれない。

自治会の収入では事業を実行するには厳しいので、補助をできるだけ多くしてほしい。

物価上昇のため、限度額の見直し。

世帯数に関わらず条件を一律にしてほしい。

自治会元気づくり応援補助制度について、約8割が「現状のままでよい」と回答していますが、「見直しをしてほしい」内容として、「世帯数の条件を軽減してほしい」や「補助額を増加してほしい」という意見もありました。

問56 自治会館建設事業費補助制度について

自治会館の新増築や改修に対して補助金を交付します。新築は、会館規模に応じて補助金を算定し、補助率は概ね 30%以内です。改修は、補助率2分の1、限度額は 50 万円または 100 万円です。
 ※改修の場合、限度額 50 万円の場合は5年間、限度額 100 万円の場合は 10 年間の制限を設けています。他の自治会との公平性を保つ観点から、制限についてご理解願います。

自治会館建設事業費補助制度について	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	134	71.3%	135	71.8%
見直しをしてほしい	20	10.6%	25	13.3%
無回答	34	18.1%	28	14.9%
計	188	100%	188	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

他の市町村のように、1000 万円クラスの補助金制度を考えてほしい。(年3~4自治会)
 自治会組織が市民センターを使用しているのがよく聞かれますが、これは正しいのでしょうか。
 補助率を上げてほしい。
 現行の補助額では個人負担が大きすぎて新築は不可能。
 新築・改築ともに部材値上りのため補助額をアップしてほしい。
 会館改修工事費が多くなるので、補助率2分の1でなく3分の2程度に増やして欲しい。
 現在の単価が上がっており、その単価に対応していないと思う。

自治会館建設事業費補助制度について、「現状のままでよい」と回答した自治会は前回調査とほぼ同様ですが、「見直しをしてほしい」内容として「限度額・補助率の増加」、「資材の高騰による補助金の増額」といった意見がありました。

問57 集落活動応援事業(旧 自治会コミュニティ再生応援事業)の利用について

規模の小さい自治会(概ね 50 世帯以下)を対象に、自治会の活力再生のための活動事業と、その準備段階である活動計画策定事業に対して補助を行います。計画策定事業は補助率 10 分の 10、限度額 10 万円。活動事業は補助率 10 分の 10、限度額 50 万円です。2つ以上の自治会が連携して事業を行う場合は活動事業の補助限度額が 100 万円になります。

集落活動応援事業の利用について	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
利用したいと思う	45	23.9%	54	28.7%
利用したいと思わない	57	30.3%	56	29.8%
対象外のためどちらでもない	41	21.8%	48	25.5%
すでに利用している	14	7.4%	7	3.7%
無回答	31	16.5%	23	12.3%
計	188	100%	188	100%

集落活動応援事業の利用について、2割の自治会が「利用したいと思う」と回答しています。

集落活動応援事業は集落支援員によるサポートを行っておりますので、生活環境課までお問い合わせください。

問58 集落支援員活動事業の活用について

自治会と協力しながら「状況調査」を実施し、調査結果を基に自治会の現状や課題、将来の自治会像などの「話し合い」を行い、それぞれの自治会の状況に応じた「活性化の取り組み」を支援します。

集落支援員活動事業の活用について	R6		R4	
	自治会数	割合	自治会数	割合
活用したいと思う	42	22.3%	41	21.8%
活用したいと思わない	72	38.3%	83	44.1%
話を聞いてみたい	29	15.4%	31	16.5%
すでに活用している	11	5.9%	6	3.2%
無回答	34	18.1%	27	14.4%
計	188	100%	188	100%

集落支援員活動事業の活用について、「活用したいと思う」、「話を聞いてみたい」を合わせた割合は約4割となっています。今後も各自治会長を訪問し、集落支援員活動事業について周知する予定ですので、ご協力をお願いします。

問59 地域づくりリーダー研修会への要望について

毎年、地域コミュニティのさらなる活発化及び課題解決のため、自治会長などを対象に講演や活動報告を行っています。

令和5年度は、自治会運営アドバイザーによる自治会への女性参画に関する講演と本市移住コンシェルジュや集落支援員による活動報告を実施しました。

令和6年度は、あきたF・F推進員による自治会への女性参画に関する講演と集落支援員による活動報告を実施しました。

※自由記載(主な回答を抜粋)

実際に動いて結果を出しているところの話を聞くのは良い。
自治会に持ち帰って、他の役員、会員と協議できる内容であってほしい。研修会やりましたあききではなく。
市街地でも熊の出没があるので、その対策の研修会なども現在では必要ではないか。
女性の参画が欲しい。
高齢化の問題と対策。

地域づくりリーダー研修会への要望について、「女性参画に関する講座」や、「高齢化問題に対する講座」などの要望がありました。今後も、自治会の課題解決の一助となるよう研修会を開催しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

問60 新たに自治会を応援する支援制度などの意見・要望について※自由記載(主な回答を抜粋)

支援制度の申請手続きをもっと簡単にできないものか。
予算もあると思うが、要望事項に早期に対応していただきたい。
自治会敬老会などへの支援(芸人の派遣など)。

自治会を応援する新たな取り組みや支援制度について、「支援制度の手続きの簡略化」などの要望がありました。

自治会の特徴・魅力・課題などについて

問61 自治会のシンボル・資源・誇りについて(複数回答あり) ※「割合」は全自治会数に対する割合

自治会のシンボル・資源・誇りに思うもの	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自然環境	47	25.0%	58	30.9%
街並み・建物	8	4.3%	9	4.8%
温泉	9	4.8%	7	3.7%
祭り	36	19.1%	33	17.6%
郷土芸能	19	10.1%	24	12.8%
伝統工芸	1	0.5%	1	0.5%
遺跡・史跡	10	5.3%	15	8.0%
特産物	3	1.6%	6	3.2%
水資源	14	7.4%	11	5.9%
動植物	4	2.1%	3	1.6%
郷土料理	2	1.1%	4	2.1%
産業	1	0.5%	0	0.0%
その他	7	3.7%	11	5.9%
無回答	96	51.1%	76	40.4%

※具体的にどのようなものがあるか

守りたい秋田の里地里山 50 に認定されている。
八幡神社例大祭(先祓舞)、大日堂舞楽(烏遍舞)。
湯瀬溪谷、鹿角市湯瀬ふれあいセンター、唐傘松、湯瀬神明社先祓舞。
七夕お楽しみ会、盆踊り、大日堂舞楽、五の宮山景、湧き水、集落排水。
大日堂舞楽、大里川原稻荷神社先祓舞。
源頼朝から追われた藤原泰衡公が平泉から逃れ、蝦夷地に逃げる途中泰衡公に付き従った浪人が山深く隠れ住んだのが、藤原の先祖。
サンショウウオの棲息地があり、環境整備をしている。
5月、9月の八幡神社例大祭、野菜など。
財産は、「サロン」「わいわいランチ」などの活動をしてくださっている自治会員です。
保全会活動で継続している伝統行事、虫送り・神社祭・山の神様・女性部の春秋の彼岸行事・念仏講・唐松様。
周囲が自然豊富である。
地理的に歴史のある所なので、これを生かした取り組みを何か考えていきたい。
こもせ通りで雁木と格子戸が整備されていること。
毛馬内のこもせ通り、武者隠し。
月山神社祭典、毛馬内盆踊り。
川原大神楽。
盆踊り、太鼓、川。
神社のしめ縄作り、虫送り、盆踊り、花壇作り、桜並木。
井戸が2か所あり。
自治会内に JR の踏切が2か所あること(シンボル?)。

伝統行事、土深井裸参り。
鹿角地区唯一の高等学校。
道の駅あんたらあ、鹿角高校。
地藏尊祭典。
小世帯なのでコミュニケーションがとやすく、集まりがあると7割くらいの世帯がすぐに集まる。
赤鳥居。
近所づきあい・人柄、運動公園、産土神社。
お日待ち(彼岸前後に実施)、春の収穫祈願祭、秋の収穫感謝祭。
鹿角りんご、北限の桃、露地きゅうり、あきたこまち。
平元大太鼓。
治安の良さ。

自治会のシンボル・資源・誇りに思うものについて、前回調査と同様に「自然環境」の割合が最も高く、次いで「祭り」や「郷土芸能」の割合も高くなりました。

問62 自治会内の課題について(複数回答あり) ※「割合」は全自治会数に対する割合

現在の自治会の課題	R6(188自治会)		R4(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
地域や集落の景観保全	15	8.0%	20	10.6%
地域安全・防犯・防災	44	23.4%	46	24.5%
河川・水路・水源の維持管理	47	25.0%	49	26.1%
地域文化の継承・保存	35	18.6%	32	17.0%
公園・道路の維持管理	26	13.8%	36	19.1%
空き家等の適正管理	87	46.3%	86	45.7%
一人暮らし高齢者世帯の増加	110	58.5%	118	62.8%
ごみや騒音などの環境問題	8	4.3%	11	5.9%
自治会の存続	45	23.9%	37	19.7%
自治会活動の停滞	31	16.5%	45	23.9%
会員数の減少	89	47.3%	95	50.5%
その他	5	2.7%	7	3.7%
無回答	20	10.6%	19	10.1%

※自由記載(主な回答を抜粋)

少子高齢化による人口減少。それに伴う行事などの衰退。
鳥獣被害が拡大している。
コロナで活動を休止した事業を再開しているが、コロナ前と違って参加意識が低くなっている。
休耕田の原野化。
会長・会計担当はじめとし役員の引き受け手がない。
自治会館の解体。建物の解体費用が年々高くなっているため、積み立てが追い付かない状態。
空き家。年数によって異なるが、危機的な状態のものもある。野生動物の住みかとなることが心配。
高齢者世帯の増加。

自治会の課題について、「一人暮らし高齢者世帯の増加」の割合が最も高く、約6割の自治会で課題として捉えています。次いで「会員数の減少」、「空き家の適正管理」の割合が高くなっています。また、前回調査と比べ、「自治会の存続」の割合が増加しています。

問63 その他自治会に関する要望や意見などについて(主な回答を抜粋)

自治会に関しての要望や意見
最近、地方の田舎でもニュース報道で強盗、窃盗など凶悪事件があるため、安全・安心な暮らしを守るため、自治会入り口にも防犯カメラの設置を希望する。
若い人、60歳の人たちの活動に期待する。このままでは先細りが目に見える。
募金が多すぎる。青、緑、赤い羽根などは本当に必要なのか疑問。
災害時の避難場所を見直しては。現在の一次避難場所だけでは緊急時には対応できない。
日本の急激な人口減少による影響は色々な分野に及び、限界集落や消滅部落が現実になってきている。わが自治会においても、高齢化率は60%超えて、空き家の件数も世帯の半数近くになっている。この先を見据えた時、人口増加の回復はのぞむべくもなく、利便性のいい土地各所に少人数集落をまとめていくことも必要かと思う。
空き家が多くなった。草刈りなどのこともあるし、冬の雪捨てにも困っている。
自治会の中でも役員をやめると出てこなくなる、いつも大変で行事をやり切れない状態が続いている。
不在地主の空き家管理、未相続解消に行政からの指導、助言、支援を積極的にお願いします。
自治会に限らず少子高齢化が鹿角市としても同じ大きな問題だと思います。特に大湯では商店などの閉店が多く、買い物するところがなく今後とても心配です。
耕作放棄地問題(所有者不明)。
花輪・十和田・八幡平・尾去沢のエリアに分け、自治会長懇談会などを開催し、情報交換の場を設けていただきたい。
このアンケートを含めた様々な提出物を、インターネット経由でも回答できるようにしてほしい。
会員の高齢化(増加や減少とは別)。